

# 私たちにも、できることがある。

2013年12月20～23日；宮城県東松島市における交流ボランティア

～四日市東日本大震災支援の会 第20回派遣～

一般（修正版）2013年11月14日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

震災から2年半がたちました。われわれが継続的に支援をしている宮城県東松島市では、ようやく復興への動きが見られるようになりましたが、まだ多くの方が仮設住宅で不自由な暮らしをしています。今回の派遣では、仮設住宅での年末の大掃除の手伝いと交流会を目的に派遣を行います。

## <活動の概要>

### ■被災地視察

壊滅的被害を受け集団移転が決まっている東松島市の野蒜地区、大曲浜を視察し、被災された方より当時のことについてお話を聴かせていただきます。

### ■仮設住宅；大掃除&交流会

東松島市の不自由な暮らしをしている仮設住宅で、年末の大掃除&交流会を開催します。今回は2日間にわたり、いくつかの仮設住宅を対象にする予定です。高校生は大掃除を中心に活動、大学生はお茶会の運営と足浴の実施を中心に活動します。若いパワーで被災した皆さんに元気を与えられるよう、頑張りましょう。

### ■耕人塾（高校生対象）

石巻専修大学の木村教授が主宰する耕人塾は、文化・教育発展への志を持ち、「人間力」を磨いて地域や社会に貢献する人を育成する中高生対象の集まりです。ここに特別参加し、宮城の高校生たちと交流を持ちます。

★ネットで「耕人塾」で検索できます。

### ■交流・研修会（大学生対象）

宮城で被災地支援の活動をしている学生と交流を持ち、われわれの今後の活動のあり方について考えます。

### ■懇親会（一般）

復活した居酒屋などで食事をして経済支援！

### ■仮設住宅生活体験

矢本運動公園仮設住宅の集会所で宿泊し、仮設住宅での暮らしを体験します。

## ★申込方法・参加費（一般）

**申込**：以下の情報・書類を学校で取りまとめます。

★氏名・フリガナ・性別・生年月日・郵便番号・住所・携帯番号・緊急連絡先

★寝袋をお持ちの方は申し込み時に教えてください。数が不足しています。

★保護者と参加者本人がサイン・捺印した**参加同意書を提出**してもらいます。

**参加費**：20,000円

<費用の内訳>

- ・四日市大学ー宮城県の往復バス・現地での移動
- ・食事5食；21日の昼食・夕食、22日の朝食・昼食、23日朝食（その他は各自負担）
- ・入浴2回分
- ・ボランティア活動保険・旅行保険

★20日の夕食・21日朝食・22日夕食は各自負担です。

**申込先・参加費支払先（先着順）**

★問合せ先：鬼頭；携帯電話：090-4266-2348 メール：[kito@yokkaichi-u.ac.jp](mailto:kito@yokkaichi-u.ac.jp)

がんばろう、  
日本。

## <スケジュール概要>

- 12月20日(金): 18:00 四日市看護医療大学 40B 教室集合、事前打ち合わせ  
⇒ 19:00 出発(四日市大学バス停) ★集合までに食事を済ませてください。
- 12月21日(土): 宮城県東松島市～激甚被災地を視察  
⇒ 10:00 矢本運動公園仮設で降車、荷物の搬入  
⇒ 矢本運動公園仮設住宅の大掃除開始(一部は、ひびき工業団地仮設で活動)  
⇒ 12:00～昼食(弁当支給)  
⇒ 交流会準備  
⇒ 午後は交流会(足浴&お茶会)  
⇒ 元気の湯で入浴  
⇒ 居酒屋等で食事  
⇒ 23:00 就寝; 仮設住宅生活体験(集会所で宿泊します)
- 12月22日(日): 7:00 起床、朝食  
⇒ 8:30～別の仮設住宅(グリーンタウン仮設・根古仮設)に移動して大掃除  
⇒ 午後; 交流会(足浴&お茶会)  
⇒ 17:00 現地出発  
⇒ 仙台で入浴 ⇒ 帰路に
- 12月23日(月): 朝7時頃に四日市大学帰着、朝食、片付け  
⇒ 9:00 より振り返りミーティング  
⇒ 11:00 頃解散

## <持ち物(バス内では、座席には最小限の荷物だけを持ち込むこと)>

- ・筆記用具(活動中に記録をとる小さなメモ帳は必ず用意してください)
  - ・健康保険証・常備薬・歯磨きセット
  - ・お金(親戚やお友達などに、たくさん土産を買ってくることも、大きな経済的支援です)
  - ・かさ・帽子・電池式携帯充電器
  - ・エプロン(交流会では、全員が着用します)
  - ・ボランティア活動保険証書(支援の会で加入し当日渡します。加入済みの人は持ってきてください)
  - ・マクラ・クッション・バスタオル・マスクなど(バス移動と集会所宿泊に利用)
  - ・寝袋を持っている人は持参ください(申し込み時に申告)。
  - ・入浴用タオル、着替え(現地で2回入浴します)、ビニール袋 ★往復のバスではトランクに入れる
- ★雪は少ない地域ですが、朝晩はかなり冷え込みます。防寒対策をしっかりとってください。

## <注意点、守るべきこと>

- ・被災者の気持ちに寄り添い、傷つけるような言動をしないこと
- ・積極的に被災者に対し、家族や友人、お姉さん、お兄さんのように笑顔で接しましょう
- ・家族を失ったり、家を流されたり、被災者が大変な経験をしていることを常に忘れないでください
- ・指示されたことだけでなく、自分で考えて行動しましょう
- ・名前や職業・住所を聞くことは、基本的にNGです。深い絆ができれば、交換もOKです。
- ・写真撮影は深い絆ができてからにしましょう
- ・活動中の写真や映像が、ホームページや報道で使われることがあります。了承ください。

## <高速バス運行体制>

本会の東北派遣では、費用よりも安全という考え方を徹底しており、運転手2名体制での運行、運転手の現地での十分な休息確保をしております。そのため、現地での活動で不便なことがあります。ご了承ください。今後も、さらに安全運行を徹底するよう、会としても努力を続けます。

\* JTB総合提携店(株)第一観光(担当; 黒田真史)を通じ、名阪近鉄バスで宮城県を往復します。